

文化と賑わい

# 駅前 れんが 倉庫が生まれ変わる

名称は「当別赤れんが6号」

JR石狩当別駅前のれんが倉庫を活用した、文化創造や情報発信などによって賑わい創出などを検討する、当別町文化創造と賑わい創出検討委員会委員長 江口正尊 北海道医療大学教授）が、11月21日（月）をもって、全7回の委員会を終了しました。検討内容をまとめた報告書は、12月12日（月）に町長へ手渡されました。

委員会では、釧路市、白老町などの先例地視察のほか、勉強会の実施、北海道医療大学の学生を対象としたアンケートなども行い、施設の名称やデザイン、運営に係る理念や運営団体の誘引などについて、一定の結論をまとめました。

また、施設の名称は、「当別赤れんが6号」と決定し、施設のイメージが提案されています。

今後、施設の運営に向けて、検討委員会のメンバーが主体となって準備委員会を組織し、広く住民の方からもメンバーを募っていく予定です。

◆担当 企画課企画振興係（☎23 3042）



## 当別町人事行政を改めてお知らせします。

12月号町広報誌で当別町人事行政等についてお知らせしましたが、平成16年度と平成17年度の内容が混在し、説明が不足していた箇所がありました。

不足していた内容について、改めて説明を加えると共に、記載に不備がありましたことを深くお詫びします。

### ◆特別職の報酬等の状況（6ページ）

町長・助役・教育長の「期末手当」の記載内容は、平成16年度分の削減内容です。

なお、平成17年度の期末手当については、町長60%、助役・教育長30%と、さらに削減率を増やしています。

また、議長・副議長・議員の期末手当は年間3.3月分ですが平成16年度・17年度にそれぞれ20%削減しています。

### ◆諸手当の内容（6ページ）

職員の「期末・勤勉手当」は、合計額から平成16年度で8%、平成17年度で11%を削減しています。

「管理職手当」の支給率は、平成16年度で給料月額率の部長職15%、課長職10%、浄水場長7%、保育所長及び副園長6%でした。また、平成17年度は、部長職12%、課長職8%、浄水場長6%、保育所長及び副園長5%と支給率を縮減しています。